

令和6年茂原市教育委員会会議6月定例会日程

日時：令和6年6月24日（月）15時30分～

場所：茂原市役所9階901・902会議室

1 開会宣言

2 会議録署名人の指名

3 会議事項

（報告事項）

報告1 令和6年度重要事項について

報告2 令和6年度6月補正予算について

報告3 臨時代理の報告について（茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱）

報告4 令和6年度千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演及び
令和6年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会への出席報告について

4 閉会宣言

報告 1

令和 6 年度重要事項について

このことについて、教育部における重要事項を下記の優先順位で提出したことを報告する。

令和 6 年 6 月 2 4 日提出

茂原市教育長 富 田 浩 明

記

重要事項（優先順位）

- 1 小中学校の再編について（教育総務課）
- 2 市立図書館の移転（生涯学習課）
- 3 休日の学校部活動の地域移行（学校教育課）
- 4 茂原市小中一貫教育の推進（学校教育課）
- 5 学校施設の老朽化対策及び施設整備（教育総務課）
- 6 旧市民会館・中央公民館の早期取り壊し（生涯学習課）
- 7 学校給食費の物価高騰対策（学校教育課）
- 8 旧社会教育センターの取り壊し（生涯学習課）
- 9 『第 2 次スポーツ推進計画』の推進（体育課）

重 要 事 項 (令和 6 年度)

部名	教育部	課名	教育総務課
----	-----	----	-------

事業名	小中学校の再編について
-----	-------------

《当年度》

現在の状況	南中と早野中の統合では、保護者や通学区域内の住民、学校の教職員の代表者による統合準備委員会を設置し、令和8年4月1日の統合に向けて具体的な協議を進める。本納小と豊岡小の統合では、令和8年3月31日までに統合時期を定めるものとしており、保護者や地域住民等との話し合いを継続・拡大する。 学校再編基本計画の計画期間が令和7年度末で満了となることから、次期基本計画の策定に向けて検討を進める。		
解決すべき課題・問題	南中と早野中の統合では、統合準備委員会での協議・検討に加え、通学道路の整備や南中の崖対策など学校環境の整備も進める必要がある。本納小と豊岡小の統合では、話し合いを拡大・継続し、将来を見据えた情報提供など、理解が深まるよう丁寧に説明を行っていく必要がある。 次期学校再編基本計画の策定に向け、学校再編審議会を開催し、学校再編の基本的な考え方や方向性について検討する必要がある。		
解決へ向けた取り組み	①	南中学校・早野中学校統合準備委員会（令和6・7年度） 令和6年度 5回程度開催予定	
	②	豊岡地区における話し合い等 3回程度開催予定	
	③	学校再編審議会の開催 7回程度開催予定	
	④	学校再編だよりの発行	
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	南中と早野中の統合では、統合準備委員会を設置し、遺漏なく統合準備に関する協議・検討を進める。本納小と豊岡小の統合では、保護者や地域との話し合いを行うことにより、統合に係る理解を深める。 次期学校再編基本計画の策定に向け、学校再編の基本的な考え方や方向性について学校再編審議会からの答申を受ける。		

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	南中学校と早野中学校の学校再編に関する説明（5 回）
	②	五郷地区学校再編に係る代表者会議（1 回）
	③	学校再編に関する話し合い（豊岡地区）（1 回）
改善結果	子どもたちのより良い教育環境を確保する取組を進めることができた。	
結果の評価	南中と早野中の統合では、統合準備委員会を設置する合意を得ることができた。本納小と豊岡小の統合では、話し合い等を拡大・継続する方向性を確認できた。	

重 要 事 項 (令和 6 年度)

部名	教育部	課名	生涯学習課
----	-----	----	-------

事業名	市立図書館の移転
-----	----------

《当年度》

現在の状況	市立図書館は、現在設置しているサンヴェルビル 6 階より、アスモ 2 階への移転を検討した。アスモには 650 台の無料駐車場があり、「利用者の利便性の向上が図られること」、移転により施設がリニューアルされ「施設の充実が図れること」、「床借り上げ料の負担が軽減されること」などの理由により、移転を実施する予定である。 現在、「茂原市新図書館基本計画と基本設計」を策定し、実施設計を策定中で、5 月頃よりアスモでのテナント解体工事及び新図書館設置工事に入る予定である。	
解決すべき課題・問題	① 利用者の利便性の向上 ② 図書館施設の充実 ③ 床借り上げ料の負担の軽減 ④ サンヴェルビルからの撤退に伴う原状回復に向けての工事。 ⑤ 南総通運株式会社との供託中である賃料。	
解決へ向けた取り組み	①	茂原商業開発株式会社や指定管理者等移転に関わる関係者との定期的な進捗管理に関わる会議の開催。
	②	サンヴェルビルからの引っ越し費用、原状回復工事費用等の予算計上を 6 月議会に上程及び市民への情報の周知
	③	茂原市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正を令和 6 年 9 月に予定。
	④	南総通運株式会社と供託中である賃料について交渉する。
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	多世代の方に広くご利用していただける市新図書館を令和 7 年 3 月末アスモに移転する。	

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	茂原商業開発株式会社や指定管理者等移転に関わる関係者との協議
	②	庁内協議
	③	議員全員協議会での説明（8 月・2 月）
改善結果	茂原市立図書館移転の決定	
結果の評価	関係機関及び庁内調整等について遅滞なく実施することにより、問題なく移転の決定がされた。引き続き、計画的かつ丁寧に進めていく。	

重 要 事 項 (令和6年度)

部名	教育部	課名	学校教育課
----	-----	----	-------

事業名	休日の学校部活動の地域移行
-----	---------------

《当年度》

現在の状況	休日の学校部活動の地域移行にあたっては、県のガイドラインに沿って進めており、令和5年度は柔道部の地域移行を開始した。 令和6年度は、「各学校1部活動以上の地域移行」に向けて、バレーボール部の地域移行に取り組んでいく。	
解決すべき課題・問題	市内には地域のプロチームや大学等が存在しないため、指導者不足が想定される。既存の指導者や地域クラブの活用はもとより、新たな指導者の掘り起こしや保護者組織の立ち上げが不可欠となっている。	
解決へ向けた取り組み	①	保護者説明会の開催及び地域への回覧文書の配布
	②	部活動顧問・地域クラブ合同会議の開催
	③	スポーツ協会や文化協会等の関係機関との連携及び各中学校の部活動後援会への説明
	④	
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	バレーボール部の地域移行に向けて、受け皿となる地域クラブや指導者等を確保し、地域移行の体制整備を図る。	

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	茂原市学校部活動地域移行推進協議会の設立及び開催（3回）
	②	保護者及び地域クラブ等に対する説明会の実施
	③	学校部活動地域移行の地域クラブの公募
	④	
改善結果	令和5年度は柔道部の地域移行に向けて、受け皿となる地域クラブの公募を行ったところ3つの地域クラブから申し込みがあり、地域移行に向けた体制整備が図られた。	
結果の評価	県のガイドラインに基づき、計画的に事業を進めることができた。	

重 要 事 項 (令和6年度)

部名	教育部	課名	学校教育課
----	-----	----	-------

事業名	茂原市小中一貫教育の推進
-----	--------------

《当年度》

現在の状況	近年の社会状況の激しい変化や子どもの成長の早期化により、いわゆる「中1ギャップ」に代表される課題が生じてきていることを受け、これまで取り組んできた小中連携教育をさらに一歩進めるため、義務教育9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す小中一貫教育を本納中学校区で先行的に実施し、茂原市小中一貫教育推進委員会でその効果を検証している。	
解決すべき課題・問題	学校ごとに立地や地域性、規模、職員体制等が異なる中、小中一貫教育を円滑に実施し、成果を具現化していくことが今後の課題となる。	
解決へ向けた取り組み	①	9年間を見通した系統性のある学習指導として、乗り入れ授業や相互授業参観の検討
	②	9年間の一貫した連続性のある生徒指導として、小学校から中学校への引継ぎの工夫
	③	茂原学の探究及び英語教育の充実
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	「未来を拓く 茂原の子」(茂原市小中一貫教育の指針)に基づく、小中一貫教育の視点1及び視点2における取組を着実に遂行し、令和7年度へ向けての準備が整う。	

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	茂原市小中一貫教育推進委員会の設置及び開催
	②	各中学校区ごとに茂原市小中一貫教育検討会の開催(校長・教頭・教務)
	③	アンケートの実施(対象:小5・6、中1及び教職員)
改善結果	各中学校区ごとに小中一貫教育についての共通理解が図られた。	
結果の評価	小中一貫教育の推進にあたっては、持続的な取り組みが重要と考える。	

重 要 事 項 (令和6年度)

部名	教育部	課名	教育総務課
----	-----	----	-------

事業名	学校施設の老朽化対策及び施設整備
-----	------------------

《当年度》

現在の状況	学校施設は建築後 40 年以上経過している建物が 40 棟程度あり老朽化対策が喫緊の課題となっている。毎年度、危険性及び緊急性を考慮し、優先順位を決めながら補修等を行っているが対策が不十分の状況である。 3 か年実施計画に計上した事業や、長寿命化計画を中心に、起債や基金の活用に努め、取り組む必要がある。また、今後は施設の長寿命化や費用の平準化を考え、将来的な統廃合を見据えた中で、学校再編との整合性を取りながら改修等を行う必要がある。	
解決すべき課題・問題	・危険性及び緊急性がある補修について、早急に対応する必要がある。 ・市の財政状況を勘案しながら児童生徒の安全性確保、教育環境の整備を図る必要がある。 ・長寿命化対策や大規模改修は、費用が膨大となる。	
解決へ向けた取り組み	①	国の助成制度、市債や基金の有効活用
	②	長寿命化計画に基づき 3 か年実施計画で改修時期等を位置づける。
	③	改修工事等について、関係部署と協議し、費用面や、実施時期等を検討する。
	④	危険性及び緊急性のある補修費の把握や、予算確保
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	・3 か年実施計画での改修時期等の位置づけ ・学校再編事業との整合 ・危険性及び緊急性のある施設等の改修	

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	茂原小学校屋上笠木他落下対策工事を実施
	②	茂原小学校トイレ洋式化外工事を実施
	③	南中学校昇降口外改修工事を実施
	④	富士見中学校管理教室棟東側外階段屋根防水工事を実施
改善結果	児童生徒の安全確保と、良好な教育環境の推進を図った。	
結果の評価	学校施設を整備することで、児童生徒が安全で、安心した学校生活を過ごすことができるが、老朽化対策が必要な学校は数多くあり、また、学校再編との整合性を取りながら、引き続き対策を講じる必要がある。	

重 要 事 項 (令和6年度)

部名	教育部	課名	生涯学習課
----	-----	----	-------

事業名	旧市民会館・中央公民館の早期取り壊し
-----	--------------------

《当年度》

現在の状況	中央公民館は、令和元年及び令和5年9月の水害により大きく被災した。今後も施設への被害の恐れがあることや、本施設は本年で建築後57年が経過しており、壁コンクリートの剥離、空調配管等の腐食や雨漏りなど老朽化も著しく進んでおり、今後利用者の安全確保が難しいことから、令和5年度末をもって廃止されることとなった。		
解決すべき課題・問題	本施設は壁コンクリートの剥離等老朽化も著しく進んでいることから、歩行者や住民等の安全確保を図るため、早期取り壊しを実施する必要がある。また、取り壊し工事は旧市民会館と同時に発注し、事業費の削減を目指す。		
解決へ向けた取り組み	①	中央公民館解体工事設計業務委託	設計額 7,040,000 円
	②	中央公民館解体工事設計審査業務委託	設計額 2,574,000 円
	③	旧市民会館・中央公民館取り壊しに係る関係課との協議	
	④	旧市民会館敷地の境界確認	
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	解体工事設計等を遅滞なく完了するとともに、令和7年度から旧市民会館と併せて中央公民館の取り壊しが実施できるよう隣接する施設の管理者（管財課・土木管理課等）との協議を整え、次年度以降の予算を確保する。		

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	庁内協議
	②	議員全員協議会での説明(11月)
	③	市議会で廃止の決定(12月)
	④	取り壊しに向けた館内整理(1月～3月)
改善結果	館内整理を実施し、速やかに取り壊し工事が実施できる状態を整えた。	
結果の評価	庁内等の協議を遅滞なく実施するとともに、関係各課への周知及び連携等により、館内整理を年度内に実施することができた。引き続き、協議を重ね、計画的に進めていく。	

重 要 事 項 (令和 6 年度)

部名	教育部	課名	学校教育課
----	-----	----	-------

事 業 名	学校給食費の物価高騰対策
-------	--------------

《当年度》

現在の状況	原油価格及び物価高騰の影響により、学校給食で使用する食材の価格が高騰している。 本市では、食材費の物価高騰対策として、令和 5 年 1 月より国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（旧新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）を活用し、保護者負担の抑制に努めている。	
解決すべき課題・問題	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が廃止された場合、公費で負担するか、保護者負担として給食費を値上げするのか、（小学校 1 食 270 円→300 円、中学校 1 食 315 円→350 円）市の方針を決定する必要がある。 公費で負担する場合は年間約 3,400 万円の財源が必要となる。	
解決へ向けた取り組み	①	国及び県内自治体の動向の把握
	②	食材の調達方法の見直し
	③	学校給食運営協議会の開催
	④	
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の廃止を踏まえた、市の公費負担に対する方針の決定。	

《前年度》 ※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	県内自治体の物価高騰対策に関する状況調査
	②	学校給食用物資納入業者登録制度の開始
	③	
	④	
改善結果	食材料費の物価高騰分を公費で負担することにより、保護者負担の抑制が図られた。	
結果の評価	保護者負担の抑制を図りながら、安心安全で栄養量を確保したバランスの良い給食を提供することができた。	

重 要 事 項 (令和 6 年度)

部 名	教育部	課 名	生涯学習課
-----	-----	-----	-------

事 業 名	旧社会教育センターの取り壊し
-------	----------------

《当年度》

現在の状況	旧社会教育センターは、昭和 42 年の建築後 57 年が経過、老朽化が著しくコンクリート壁の滑落などが見受けられ、大変危険な状態であり早期の取り壊しが必要であるが、令和 6 年度当初予算の実施が見送られた。	
解決すべき課題・問題	本施設は茂原小学校及び市中心部都市公園にも隣接していることから、事故防止のため早期の取り壊しが必要である。	
解決へ向けた取り組み	①	令和 7 年度、アスベスト含有調査及び解体設計業務委託の実施
	②	令和 8 年度以降、解体工事の実施
	③	取り壊しまでの間、人の立ち入りを防ぐなど事故防止に努める。
	④	取り壊し後の土地利活用について全庁的協議を行う。
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	貼紙やロープ設置等の事故防止策により施設の安全な管理に努めながら、早期の取り壊しに向けて体制を整える。	

《前年度》※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	アスベストの分析調査に必要なサンプル数を把握するための事前調査を行った。
	②	敷地の周囲にロープを張り、立ち入り禁止の貼紙をするなど、侵入防止策を講じた。
	③	館内整理を実施し取り壊し工事が実施できる状態に整えた。
	④	茂原小学校に児童が施設に近寄らないよう指導協力を依頼した。
改善結果	・アスベスト分析調査のために必要なサンプル数 (30 種) が判明した。 ・事故防止や近隣からの苦情に速やかに対応することができた。	
結果の評価	取り壊しに向けた準備を予定どおり進めることができた。	

重 要 事 項 (令和6年度)

部名	教育部	課名	体育課
----	-----	----	-----

事業名	『第2次スポーツ推進計画』の推進
-----	------------------

《当年度》

現在の状況	コロナ禍により各種スポーツ事業が中止・縮小して実施されていたことから、市民が集団でスポーツをする機会が減っていたが、昨年、コロナが5類へと移行した他、市民体育館に空調設備を設置したことにより、年間を通じて、快適なスポーツ環境が整い、スポーツ機会の提供が行いやすくなった。								
解決すべき課題・問題	第2次スポーツ推進計画の基本理念「市民ひとり1スポーツ」の実現のため、より効果的かつ満足度の高いスポーツイベントやスポーツ教室の開催が求められる。また、次期スポーツ計画策定の基礎となる効果、実績の分析が必要となっている。								
解決へ向けた取り組み	<table border="1"> <tr><td>①</td><td>費用対効果を考慮した教室等の開催</td></tr> <tr><td>②</td><td>タッチバレーボールを主体としたユニバーサルスポーツの推進</td></tr> <tr><td>③</td><td>参加者アンケートに基づいた開催方法の検討</td></tr> <tr><td>④</td><td>市民を対象としたアンケートの実施</td></tr> </table>	①	費用対効果を考慮した教室等の開催	②	タッチバレーボールを主体としたユニバーサルスポーツの推進	③	参加者アンケートに基づいた開催方法の検討	④	市民を対象としたアンケートの実施
①	費用対効果を考慮した教室等の開催								
②	タッチバレーボールを主体としたユニバーサルスポーツの推進								
③	参加者アンケートに基づいた開催方法の検討								
④	市民を対象としたアンケートの実施								
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	計画した事業やアンケート等を実施し参加人数等の活動指標を達成する。 計画の事業評価シートを作成し、進捗状況等具体的成果を把握する。								

《前年度》 ※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	<table border="1"> <tr><td>①</td><td>冷暖房設備の適切な運用</td></tr> <tr><td>②</td><td>開催規模の縮小や内容の工夫によるスポーツイベントの開催</td></tr> <tr><td>③</td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td></tr> </table>	①	冷暖房設備の適切な運用	②	開催規模の縮小や内容の工夫によるスポーツイベントの開催	③		④	
①	冷暖房設備の適切な運用								
②	開催規模の縮小や内容の工夫によるスポーツイベントの開催								
③									
④									
改善結果	快適なスポーツ環境の提供と、コロナ禍以降初と言える100人規模のスポーツイベントの開催								
結果の評価	災害による延期、中止を除き概ね計画していた事業については実施し、活動指標については達成することが出来た。								

報告 4

令和 6 年度千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演への出席報告について

このことについて、下記のとおり出席したことを報告します。

記

1 日 程

令和 6 年 5 月 2 3 日（木） 1 3 時 3 0 分から

2 場 所

スターツおおたかの森ホール（流山市おおたかの森北 1－2－1）

3 内 容

定期総会、特別講演

報告 4

令和 6 年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会への出席報告について

このことについて、下記のとおり出席したことを報告します。

記

1 日 程

令和 6 年 5 月 3 1 日（金） 1 3 時から

2 場 所

イーエスはなもも体育館（茨城県古河市下大野 2 5 2 8）